

藤井寺市 市民アンケート調査結果【概要】

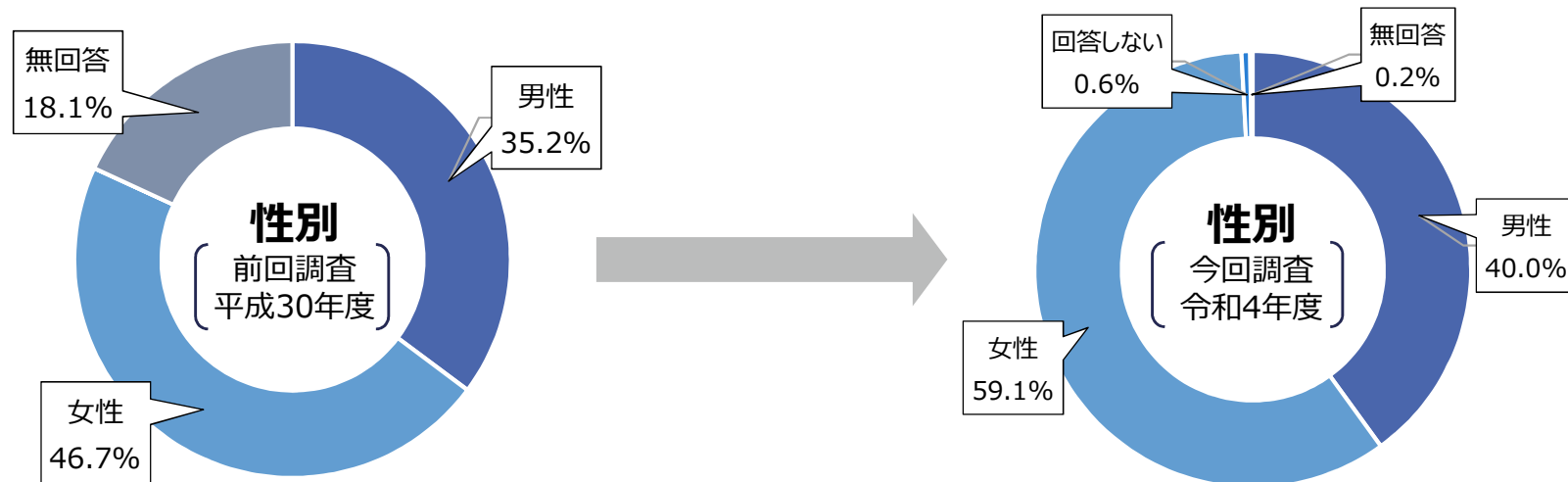
01 | 調査の概要

本年度実施した藤井寺市のまちづくりのための市民アンケート調査の概要は以下のとおりです。

① 調査期間	2022（令和4）年8月10日（水）～8月31日（水）
② 調査対象	市内在住の18歳以上の3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
③ 調査方法	郵送配布・郵送回答（インターネットによる回答も可）
④ 回収率	35.9%（回答数1,077件÷発送数3,000人）
⑤ 留意点	●調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。 ●百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率合計が100%と一致しない場合があります。

02-01 | 回答者の性別

アンケートの回答者の性別は、前回調査より無回答の割合が減少し、男性も女性も割合が増加しています。



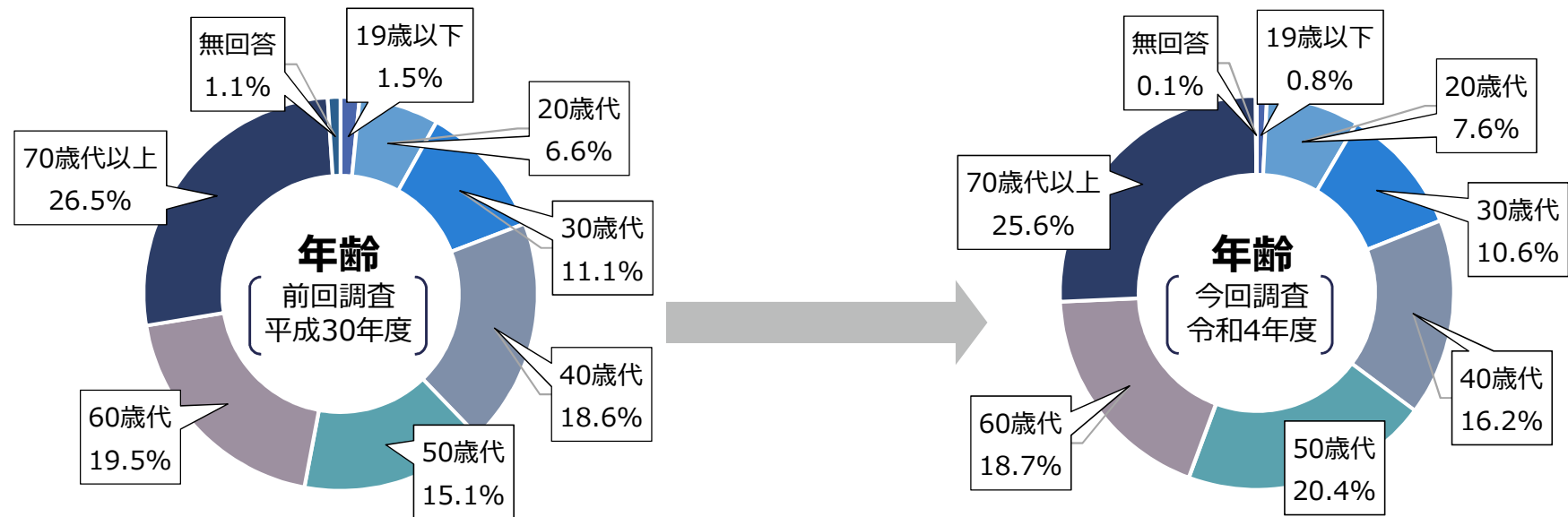
No	選択肢	件数	割合
1	男性	365	35.2%
2	女性	484	46.7%
3	回答しない	-	-
4	無回答	188	18.1%
-	合計	1,037	100.0%

No	選択肢	件数	割合
1	男性	431	40.0%
2	女性	637	59.1%
3	回答しない	7	0.6%
4	無回答	2	0.2%
-	合計	1,077	100.0%

※回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

02-02 | 回答者の年齢

アンケートの回答者の年齢は、前回調査と同様に70歳以上の割合がもっとも高くなっています。また、前回調査と比べて50歳代の割合が高くなっています。



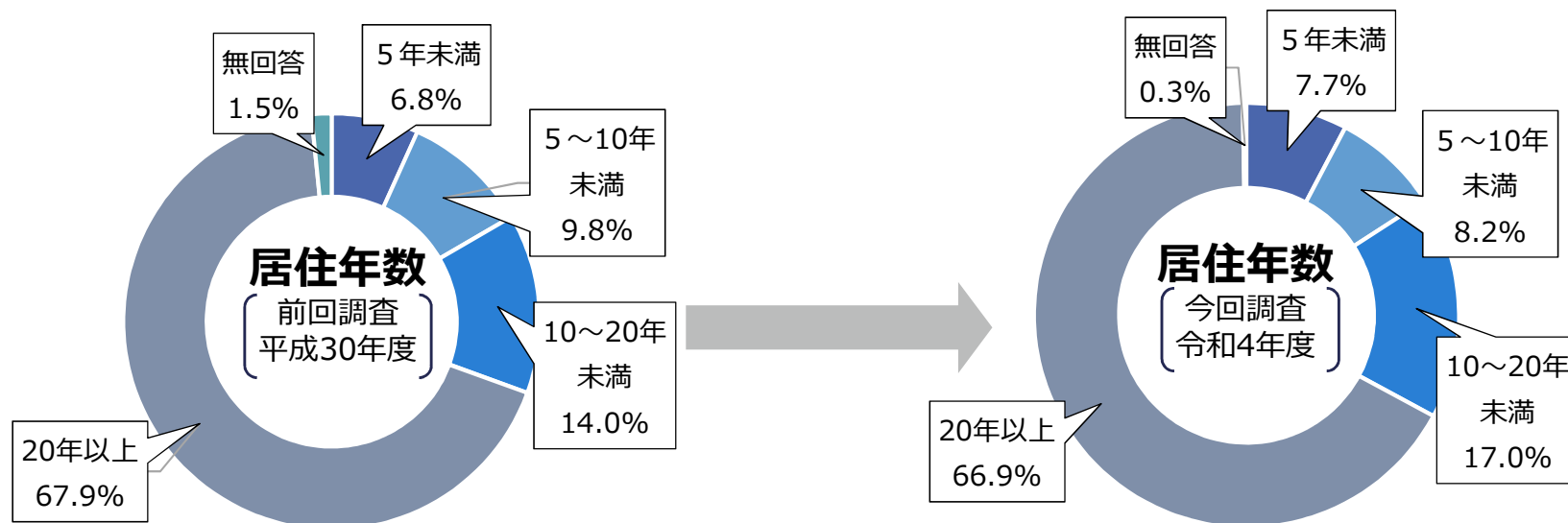
No	選択肢	件数	割合
1	19歳以下	16	1.5%
2	20歳代	68	6.6%
3	30歳代	115	11.1%
4	40歳代	193	18.6%
5	50歳代	157	15.1%
6	60歳代	202	19.5%
7	70歳以上	275	26.5%
8	無回答	11	1.1%
-	合計	1,037	100.0%

No	選択肢	件数	割合
1	19歳以下	9	0.8%
2	20歳代	82	7.6%
3	30歳代	114	10.6%
4	40歳代	174	16.2%
5	50歳代	220	20.4%
6	60歳代	201	18.7%
7	70歳以上	276	25.6%
8	無回答	1	0.1%
-	合計	1,077	100.0%

※回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

02-03 | 回答者の居住年数

アンケートの回答者の居住年数は、前回調査と同様に20年以上の割合がもっとも高くなっています。



No	選択肢	件数	割合
1	5年未満	70	6.8%
2	5～10年未満	102	9.8%
3	10～20年未満	145	14.0%
4	20年以上	704	67.9%
5	無回答	16	1.5%
-	合計	1,037	100.0%

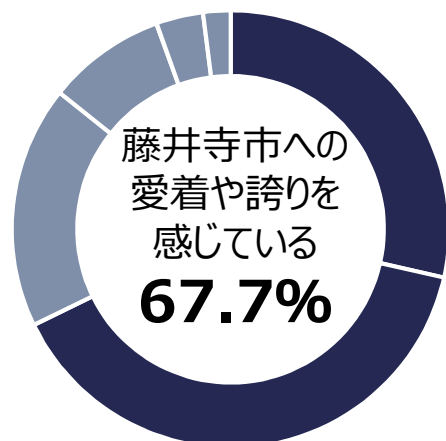
No	選択肢	件数	割合
1	5年未満	83	7.7%
2	5～10年未満	88	8.2%
3	10～20年未満	183	17.0%
4	20年以上	720	66.9%
5	無回答	3	0.3%
-	合計	1,077	100.0%

※回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

03 | 藤井寺市への愛着や誇り

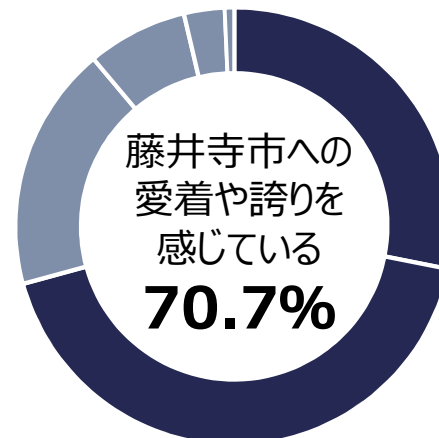
藤井寺市への愛着や誇りに関する調査の結果、藤井寺市への愛着や誇りを感じている割合（「愛着や誇りを感じている」「少しは愛着や誇りを感じている」の合計）が、前回調査に比べて3.0%upしています。

前回調査（平成30年度）



3.0%up

今回調査（令和4年度）



No	選択肢	件数	割合
1	愛着や誇りを感じている	296	28.5%
2	少しは愛着や誇りを感じている	407	39.2%
3	どちらともいえない	186	17.9%
4	あまり愛着や誇りを感じていない	91	8.8%
5	愛着や誇りを感じていない	36	3.5%
6	無回答	21	2.0%
-	合計	1,037	100.0%

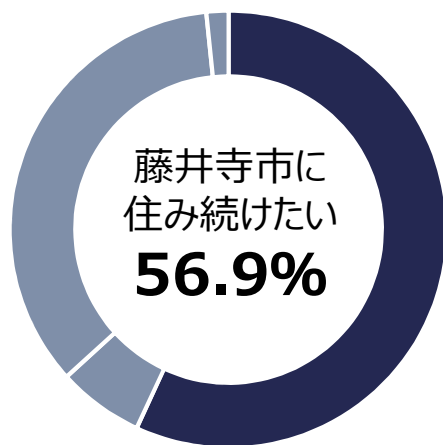
No	選択肢	件数	割合
1	愛着や誇りを感じている	303	28.1%
2	少しは愛着や誇りを感じている	459	42.6%
3	どちらともいえない	195	18.1%
4	あまり愛着や誇りを感じていない	80	7.4%
5	愛着や誇りを感じていない	32	3.0%
6	無回答	8	0.7%
-	合計	1,077	100.0%

※回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

04 | 藤井寺市への定住意向

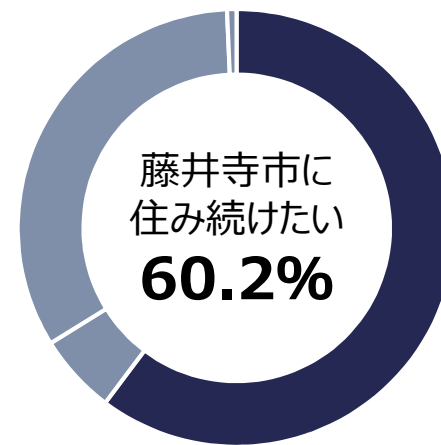
藤井寺市への定住意向の調査の結果、将来にわたり藤井寺市に住み続けたいと思っている割合が前回調査と比べて3.3%upしています。

前回調査（平成30年度）



3.3%up

今回調査（令和4年度）



No	選択肢	件数	割合
1	住み続けたい	590	56.9%
2	住み続けたくない	66	6.4%
3	どちらともいえない	364	35.1%
4	無回答	17	1.6%
-	合計	1,037	100.0%

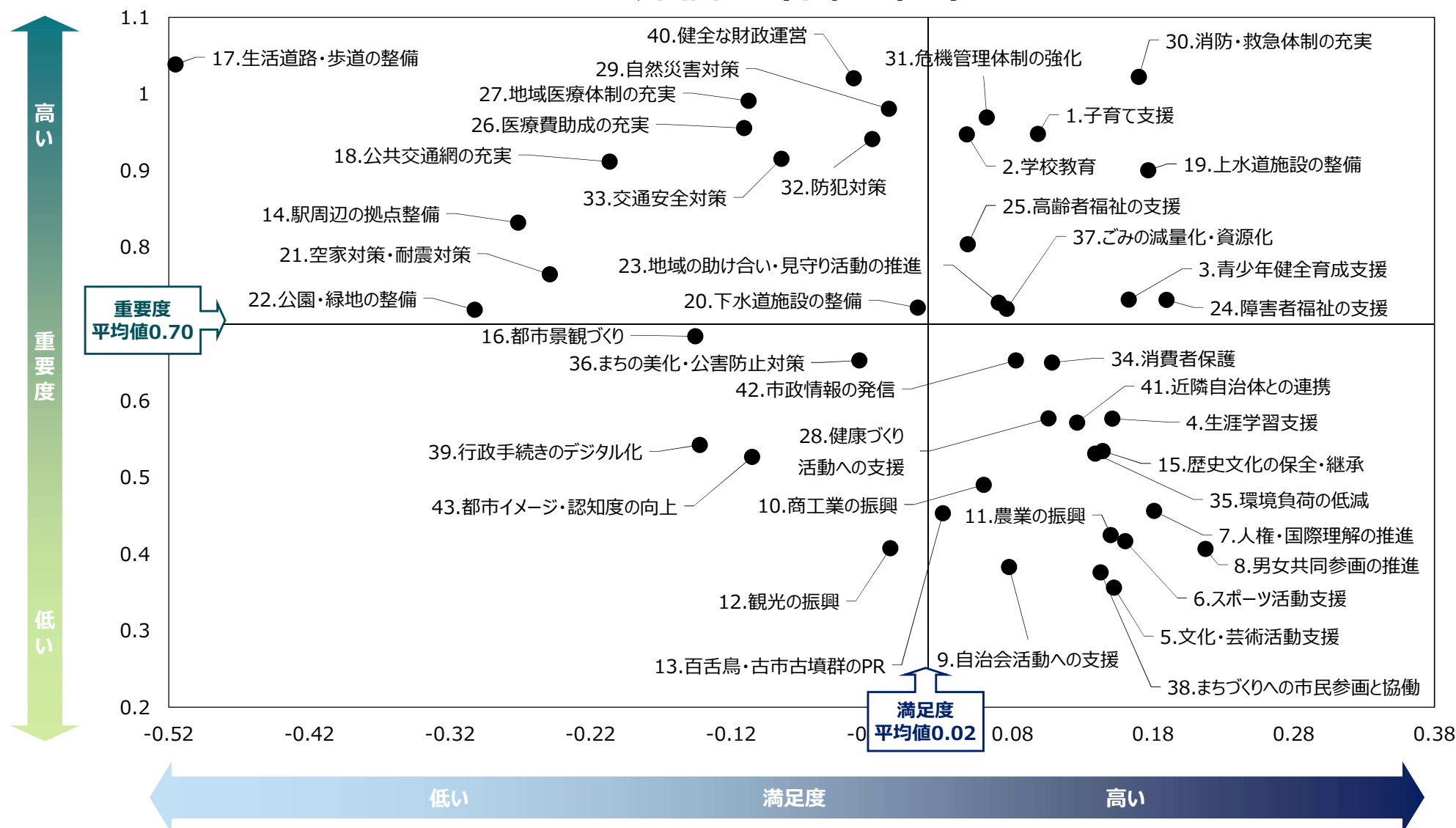
No	選択肢	件数	割合
1	住み続けたい	648	60.2%
2	住み続けたくない	64	5.9%
3	どちらともいえない	357	33.1%
4	無回答	8	0.7%
-	合計	1,077	100.0%

※回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

05-01 | 各施策の重要度と満足度

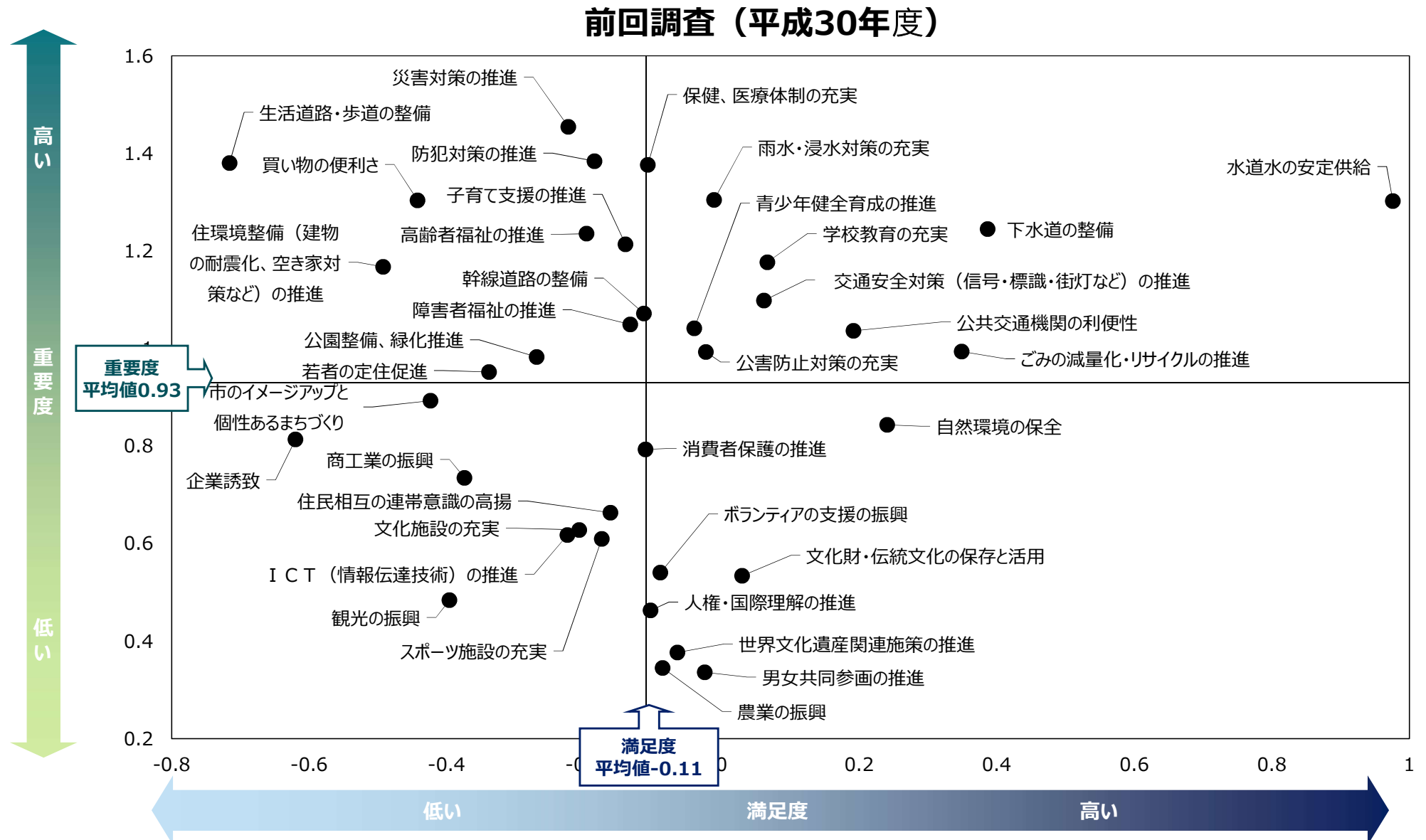
各施策の重要度と満足度の調査の結果、12の施策が重要度が高く満足度が低い領域（左上）となっており、今後、力を入れていくべき取組と考えられます。

今回調査（令和4年度）



05-02 | 各施策の重要度と満足度

各施策の重要度と満足度の前回調査の結果、12の施策が重要度が高く満足度が低い領域（左上）となっていました。



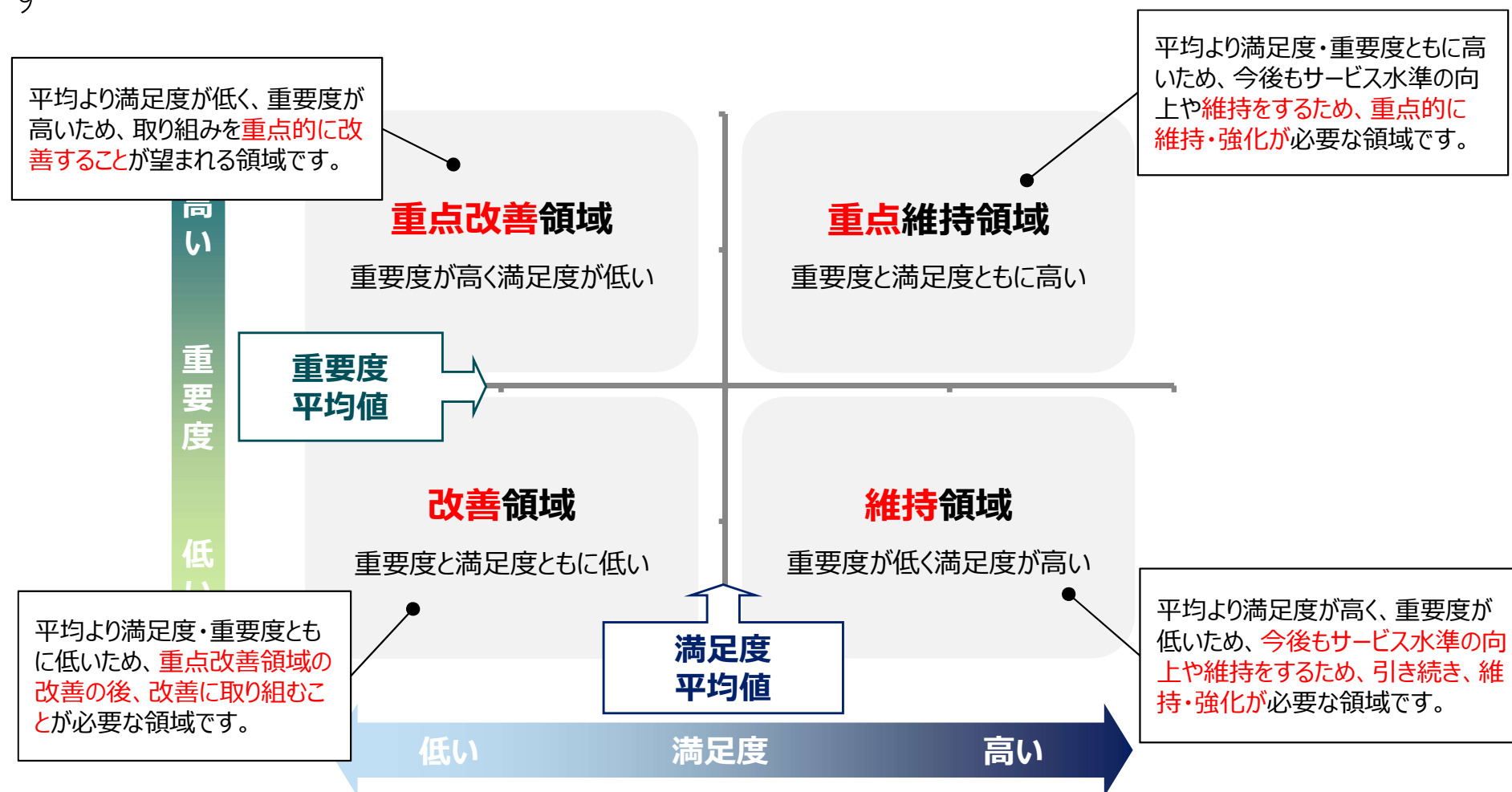
05-03 | 重点改善領域・重点維持領域の変化

前回調査（平成30年度）から今回調査（令和4年度）の変化を整理すると、市として力を入れている施策が評価されています。なお、住みよいまちづくりや安全・安心にかかわる施策が重点改善領域となっています

		今回調査（令和4年度）	
		重点 <u>改善</u> 領域	重点 <u>維持</u> 領域
前回調査（平成30年度）	重点 <u>改善</u> 領域	満足度 <u>維持</u> 「17.生活道路・歩道の整備」 「21.空家対策・耐震対策」「22.公園・緑地の整備」「29.自然災害対策」「32.防犯対策」	満足度 <u>上昇</u> 「1.子育て支援」「24.障害者福祉の支援」「25.高齢者福祉の支援」
	重点 <u>維持</u> 領域	満足度 <u>低下</u> 「18.公共交通網の充実」「20.下水道施設の整備」「27.地域医療体制の充実」「33.交通安全対策」	満足度 <u>維持</u> 「2.学校教育」「3.青少年健全育成」「19.上水道施設の整備」「31.ごみの減量化・資源化」

参考 | 各施策の重要度と満足度の算定方法

各施策の重要度と満足度の結果について、点数の算定方法と4つの領域の説明は以下のとおりです。



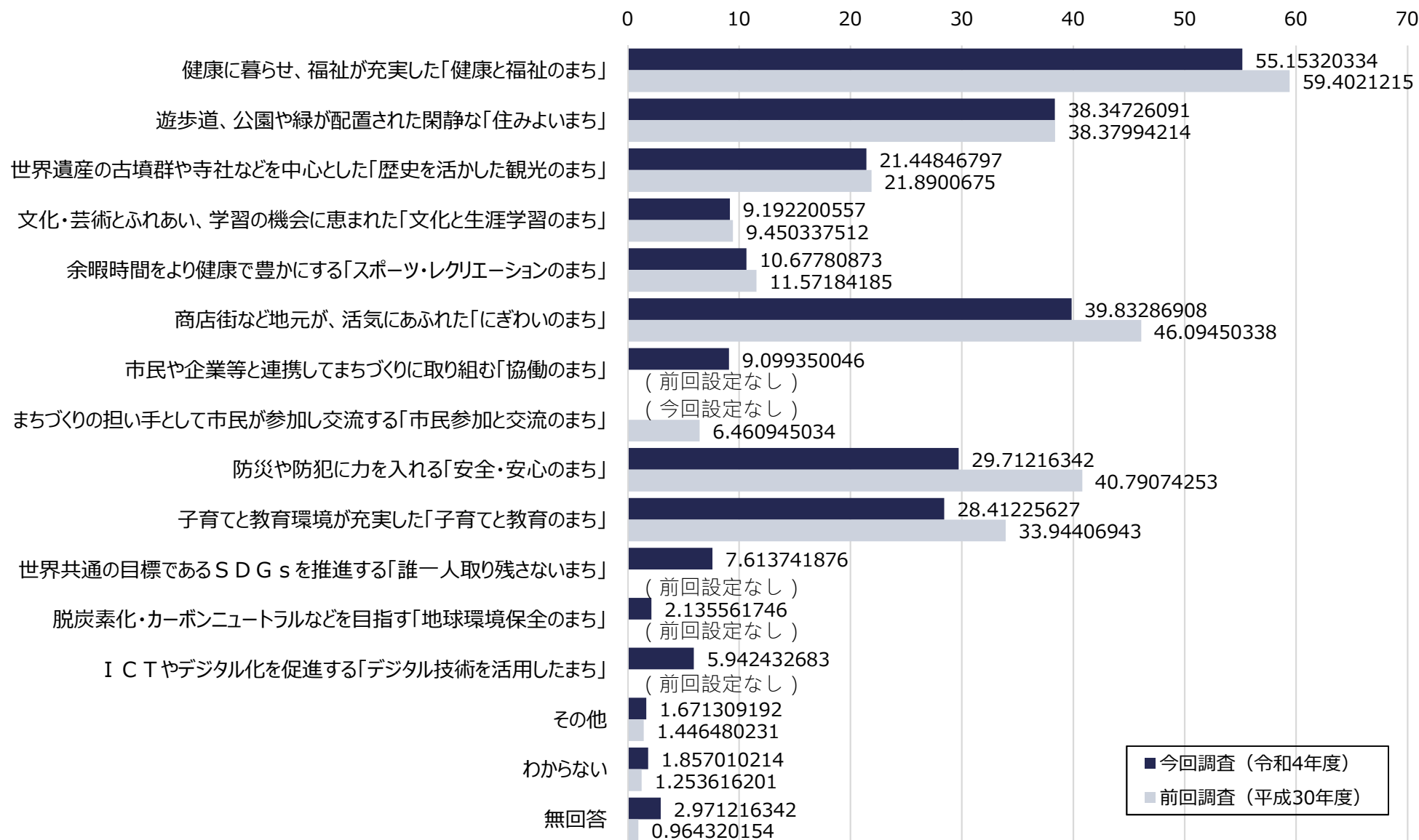
重要度と満足度の算定方法

- 重要度 = ((とても重要2点×回答数) + (やや重要1点×回答数) + (あまり重要でない-1点×回答数) + (重要でない-2点×回答数) + (どちらともいえない0点×回答数)) ÷ 有効回答数※
- 満足度 = ((とても満足2点×回答数) + (やや満足1点×回答数) + (やや不満-1点×回答数) + (とても不満-2点×回答数) + (どちらともいえない0点×回答数)) ÷ 有効回答数※

※ 有効回答数は「無回答」の数を除いた数です。

06 | 藤井寺市の将来像

藤井寺市の将来像は、前回調査と同様、健康に暮らせ、福祉が充実した「健康と福祉のまち」がもっとも割合が高くなっています。



※上記の設問は、該当する選択肢を最大3つまで回答することが可能な設問です。

07 | 藤井寺市がめざすべき都市像にふさわしい言葉

今後、藤井寺市がめざすべき都市像を表すものとして、ふさわしい「言葉（キーワード）」は、前回調査と同様、“快適さ”がもっとも割合が高くなっています。

